

これからの時代の 生き方暮らし方

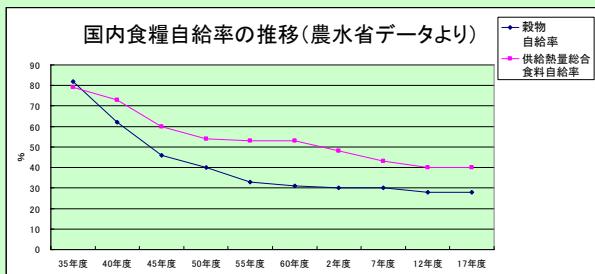
安曇野パーマカルチャー塾

今日お話したいこと

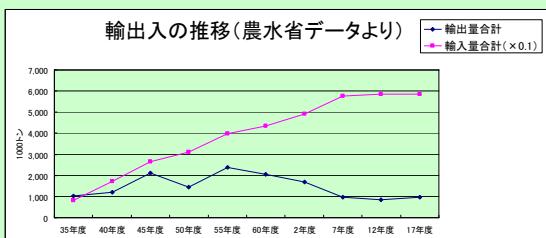
1. 日本のシステムデザインはどうなってる？
2. 便利になって帰ってきたものとは？
3. これからの生き方・暮らし方の羅針盤は？

日本のシステムデザインは どうなっているの？

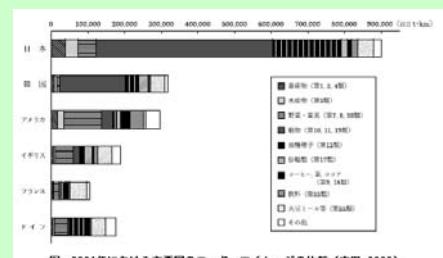
食糧自給率の推移



食糧輸出入量の推移

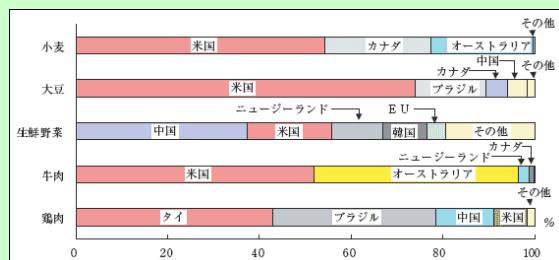


フードマイレージ



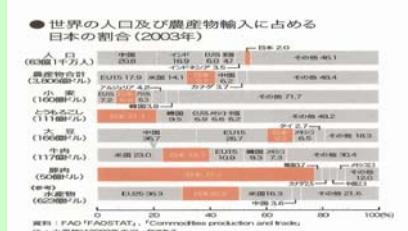
フードマイレージとは、輸入相手国からの輸入量 × 距離で算出される。
フード・マイレージが大きいほど、環境負荷も高い。

食糧需要をめぐる情勢



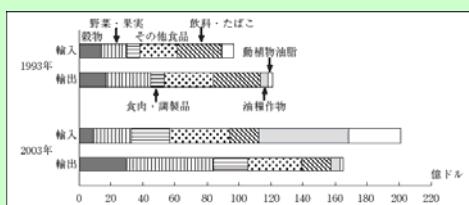
我が国の主要農産物の国別輸入割合(平成15年)
(「平成16年度食料・農業・農村白書の概要」より)

世界の人口および農産物輸入に占める日本の割合は？



「不測時の食料安全保障について」(農林水省作成)より

中国の農産物貿易額の変化



農産物貿易全体でみると、中国は農産物純輸入国に！

中国の農産物貿易額の変化(「平成16年度食料・農業・農村白書の概要」より)

資料:国連「UN Comtrade」
注:1) 食品には、魚介類・調製品は含まれない。
2) 中国には、香港、マカオが含まれる。

日本は、食料自給できる？

有機農業の場合

日本人一人につき4アール(120坪)の

農地が必要



1億2000万人 × 4アール = 480万ha

埼玉県小川町の有機農家 金子美登氏による、実践から割り出した数字

「有機農業みんなの疑問」館野廣幸著より

日本の耕地面積は？

昭和55年 546万ha
平成12年 483万ha
平成15年 474万ha

(農林水産省「高知および作付け面積統計」より)

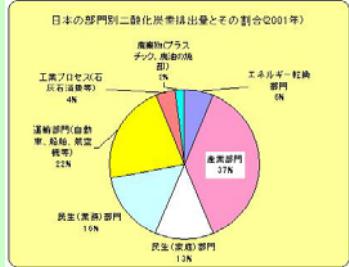
エネルギーは自給できるの？

日本にあるエネルギー資源

- ・太陽光発電
- ・風力発電
- ・地熱発電
- ・木質バイオマスの活用
- ・バイオガスの活用

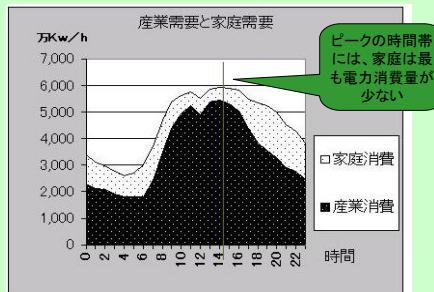
これでまかなうには、どうする？

日本の部門別 二酸化炭素排出量とその割合



- 家庭のライフスタイルが問題にされるが、現実には家庭の二酸化炭素排出量は全体の1／8程度。

ピーク需要は産業消費が作る



- 足りないのはピーク、一年間8,760時間の10時間だけ
- ・その9割を作っているのは産業需要だ！

作成 田中 優

自然エネルギーの 家庭への導入

今までの電力消費量 4000kwh／年

⇒ 太陽光発電3.8kwの設備

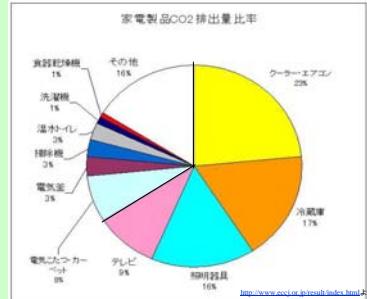
広さ17畳で約300万円

電力消費量を半分にしてから導入すると

⇒ 太陽光発電 2kwの設備

広さ8畳で約130万円

家庭内の電力消費、四天王！



- エアコン、冷蔵庫、照明、テレビで電気消費量の3分の2を占める！

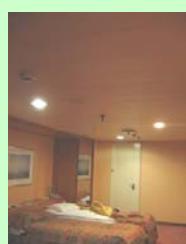
作成 田中 優

省エネ家電の省エネ率は？

1995年 省エネ製品の消費電力平均値
100とすると

2002年 省エネ製品トップランナーは
ビデオと冷蔵庫で
マイナス80%！

照明は？



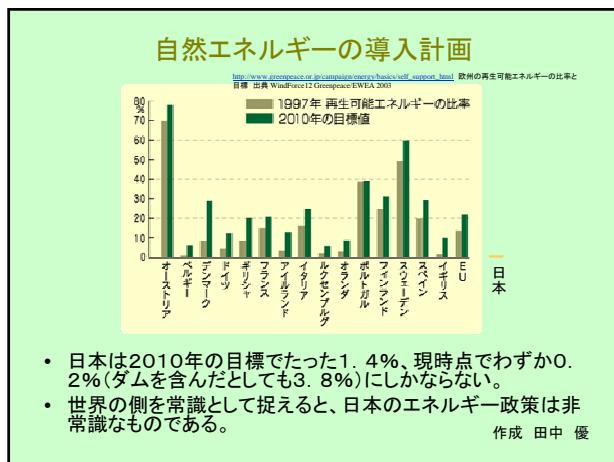
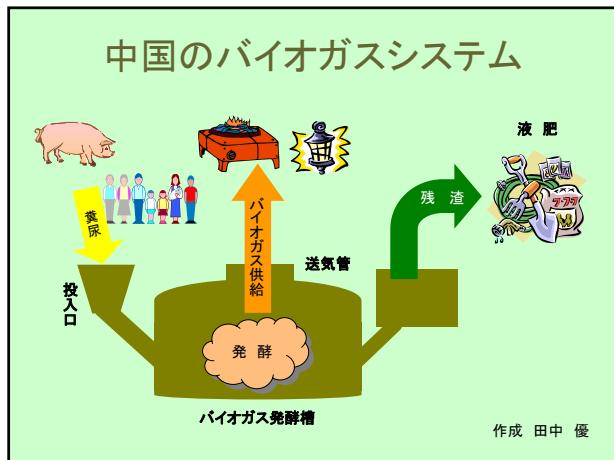
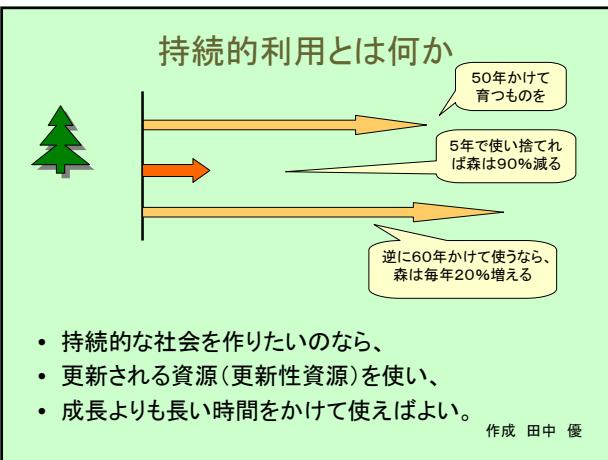
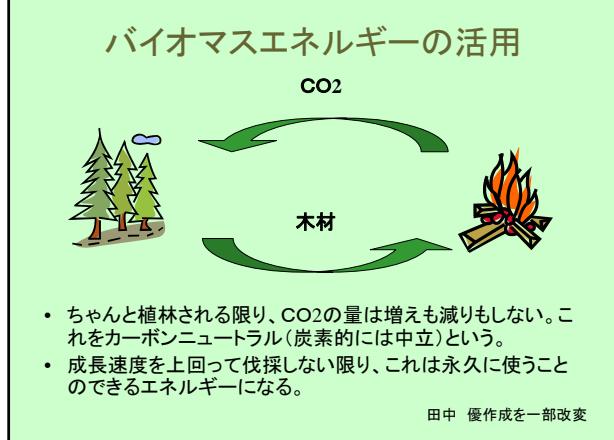
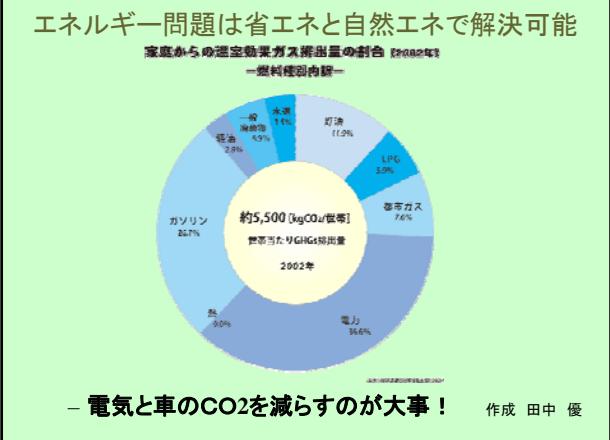
60Wの
白熱電球



蛍光灯(13W) LED(1W)

5分の1以下減 60分の1に減
寿命は白熱電球 寿命は白熱電球
の約8倍 の約80倍







今はどんな時代？

- ・変化が激しい時代
 - ⇒ドッグイヤーからマウスイヤーへ
 - 10年ひと昔から3年ひと昔へ
- ・様々なものが進化して、合理化から多様化へ
 - ⇒効率化・均質化から個性化の時代へ
 - ⇒懐かしいものが便利になって復活

便利になって帰ってきた 懐かしいもの1

- ・電子メール: 文字によるコミュニケーション
- 効率的な電話文化による「音声」コミュニケーションから「文」の文化の復活

便利になって帰ってきた 懐かしいもの2

- ・インターネット
 - ボランティアの文化を復活させた。
(リナックス、教えあいの文化)
 - ⇒地域コミュニティの助け合い
 - ⇒贈与経済の復活

便利になって帰ってきた 懐かしいもの3

- 資源リサイクル: 大量生産、大量消費、大量廃棄が当たり前の時代は、資源リサイクルは、経済性・合理性の点で見合わないとされた
- ⇒地球環境問題の深刻化により重要テーマとして復活
- ⇒個人レベルでみると、不用品を効率的にほしい人へ渡すネットオークションが普及

便利になって帰ってきた 懐かしいもの4

食べ物：効率的な慣行栽培、安価な輸入食料から、安全・環境と調和した食料生産へ

⇒有機野菜の一般化、自給用の野菜栽培への関心の高まり

⇒有機野菜が入手しやすくなってきた

⇒安全な食べ物を簡単に手に入れる方法として家庭菜園が見直されてきた

便利になって帰ってきた 懐かしいものの共通点

社会を取り巻く状況が変化して、これまで非効率なものとして忘れられたものが、より便利に、身近になって復活している

⇒ 螺旋的発展

これからの経済はどうなるか？

□経済の発展

贈与経済 ⇒ 物を交換する交換経済

⇒ 交換を効率的に行う貨幣経済

⇒ 資本主義経済の発達

⇒ 資本主義経済のほこりび・崩壊

⇒ 贈与経済の復活(ボランタリーエコノミー)と成長、マネーチームからつながりの経済への移行？

3つの経済とこれからの社会

1. 貨幣経済

2. 物々交換の経済

3. 労働交換の経済

信頼・つながり

生き物・自然・人がつながる暮らし

=めざす持続可能な社会

どう生きるか？

ライフワークバランス

仕事以外の人生と仕事の時間的なバランス

仕事以外の人生を充実させるには？

⇒普段の暮らしを充実させる

充実した暮らしとは？

安全・安心で健康な暮らし

心にゆとりのある豊かな暮らし



自分の手に自分の暮らしを取り戻すことで、時間と物質両面の質を向上させる

答えのひとつはパーマカルチャー

暮らしを自分で作るための価値観、
知識、知恵、技術を習得する

**キーワードは、
衣 食 住 医
そして、正しくより楽しく
つながりんぐ が大事**

もちろん、個人の努力だけでは
達成できないことも多い

社会構造の変化も重要

自分たちが住みたい社会の明確な
イメージを持つ仲間を増やす

一人一人は無力じゃない、微力なだけ

やるべきこと、目指すこと

①自分が求める未来は？

例えば、安心、安全、健康な暮らし

やりたいけど、できない

⇒ ならば、
ギャップを埋める支えあいを

パーマカルチャーの仲間とつながる意味

やるべきこと、目指すこと

②大好きで、人に役立つことは？

・誰かのギャップを埋めるために、
できること、やりたいことは？

仕事とは…

やりたいことを見つけ、多くの人に知らせること
＝伝道師的な生き方が楽しい

結果として、自分の専門分野が社会に活きる！

これからの生き方暮らし方

□キーワード
つながりあい、かかわりあい

教えあい、わけあい、支えあい

パーマカルチャー的な生き方は
これからの時代を生き抜く羅針盤